

基本施策 30 市民連携・市民協働・市民参画の推進

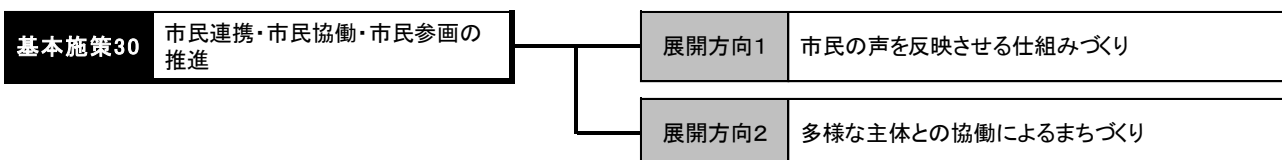
【施策統括課：生活コミュニティ課 主な関係課：特命担当、生涯学習課】

<現状と課題>

- 近年、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進展等を背景に、全国的に地域社会が抱える課題が複雑化・深刻化しているとともに、社会保障関係費の増大等によって、行政の人的・財政的な制約が強まっています。
- このような状況下、行政だけでは解決できない課題等に対して、市民・地域・NPO・事業者等と行政がお互いに不足する部分を補い、また、自立したパートナーとして協力し合い、課題の解決に取り組む協働のまちづくりを様々な分野に拡大していく必要性が高まっています。
- 国立市では、協働を積極的に推進するため、平成 18(2006)年 10 月に「NPO等と国立市による協働推進の指針」を策定しています。しかし、平成 26(2014)年度に実施した「第 15 回国立市政世論調査」の中で「グループ活動や地域活動の参加状況」を質問した結果、「参加していない」が回答者の 54.5%に上っています。
- 今後さらに多様化・深刻化していくと見込まれる地域社会が抱える課題に対し、迅速かつきめ細かく対応するためには、様々な機会を捉えて市民の意見を聴取し、また、より広範な分野で市民・地域・NPO・事業者等との市民参加(市民参画)と協働によるまちづくりを積極的に推進してくための仕組みを強化することが必要です。

<施策の目的及び体系>

行政と市民が相互の信頼と対等な関係性の下、協働のまちづくりに積極的に参画する、より多様で豊かなまち(行政運営)を目指します



<展開方向1：市民の声を反映させる仕組みづくり>

【目的】

より多くの人々が自ら進んで市政やまちづくりに参画できるようにします。

【手段】

- ◆ハード・ソフトの両面から、より多くの主体が市政やまちづくりに参画できる仕組みづくりを推進します。
- ◆まちづくりに対する意見・要望等を広く市政に反映させるため、様々な媒体を活用した広聴機能の充実に取り組みます。
- ◆次世代を担う若い市民によるタウンミーティングの開催等により、若者の意見を市政に反映させていきます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
市政に参画した市民の人数 (市政参画の機会1回ごとの平均参加人数)	人	附属機関、タウンミーティング、ワークショップ、説明会等の平均参加人数	43.5 (H27年)	47.9	52.2
市民からの意見・相談・要望件数	件	「くにたちメールボックス」、「くにたち市民の声」等に寄せられた意見・相談・要望等の件数	1,308 (H26年)	1,400	1,500

<展開方向2：多様な主体との協働によるまちづくり>

【目的】

多様な主体による協働を進めることにより、地域社会が抱える課題に迅速かつきめ細かに対応します。

【手段】

- ◆より広範な分野において、市民・地域・NPO・事業者等との協働事業を推進します。また、出前講座「わくわく塾くにたち」の実施などにより、市政への関心を深めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	単位	指標の説明又は出典元	実績値	目標値	
				H31年	H35年
協働事業の実施件数	件	市がNPO等の市民活動団体と協働で実施した事業の数	89 (H26年)	100	120